

平成31年度(令和元年度) 東京都立大島海洋国際高等学校 学校経営計画

<p>1 目指す学校</p>		<p>《教育目標》 「海を通して世界を知る」をコンセプトに体験を重視した海洋教育・国際教育を先導する高校を目指す。国際社会の課題や環太平洋地域の海、船、水産を素材とした課題を発見・探究する高い志をもつスペシャリストを育成する。また、国際社会に通用する優れたコミュニケーション能力、良識、学力をもち社会に貢献できる国際感覚豊かな逞しい人間を育成する。 《校 訓》 「誠実」Faithfulness、「礼節」Courtesy、「協力」Cooperation</p>			<p>《重点育成項目》 (1) 進路希望をより高いレベルで実現する学力を育成する。 (2) 日本文化を学ぶとともに、留学生や国外からの訪問者の受入れと交流活動により異文化理解力を育成する。 (3) 学校行事、寄宿舎生活、航海実習、部活動を通じて豊かな心と逞しい体を育む。 (4) 帰属意識を深めながら仲間と共により良く生きる生徒を育成する。</p>				
<p>2 中期的目標と方策</p>		(1) 学校経営	(2) 学習活動・進路活動		(3) 生活指導・寄宿舎指導		(4) 国際教育・特別活動	(5) 地域貢献	(6) 広報活動
		<p>学校経営</p> <p>○生徒の進路実現につながる教育活動を実践し、教職員が一丸となって学校経営上の課題解決に取り組む。 ○平成29年度東京都立大島海洋国際高等学校在り方検討委員会の報告書及び平成30年度立高校改革新実施計画(3次)に基づき、平成33年度入学生からの学科改編への具体的な教育課程編成作業を実施する。 ○自律経営推進予算の適正な予算計画及び効果的な執行に努める。</p>	<p>学習指導等</p> <p>○基礎学力の定着と生徒の進路実現に向けた学力の向上を図る。○教科会を中心とした教科マネジメントを確立させ、生徒の主体的、対話的な深い学びを探究した授業を提供する。○教科横断的な視点に立った資質・能力の育成を図る。○国際コミュニケーションツールとして、総合的な英語力の育成や言語活動を推進した指導の工夫をする。</p>	<p>進路指導</p> <p>○生徒一人一人の進路実現を目指し、四年制大学、公務員など、より高いレベルの目標を実現する意欲と学力を育成する。 ○3年間を見通したキャリア教育の全体計画を踏まえた進路指導を推進する。</p>	<p>生活指導</p> <p>○規則正しい生活習慣や規範意識を醸成するために、校訓である誠実・礼節・協力の意味を理解させ、公共心や道徳心を育み、安全・安心な学校生活を基盤とする人権意識をもつ自律的な生徒を育成する。</p>	<p>健康づくり</p> <p>○学校保健計画に基づき、保護者、地域関係者等と連携し、生徒の心身の健康保持増進を進める。</p>	<p>○国際社会を念頭に思考・判断する豊かな国際感覚と、現代社会の課題に自発的に取り組もうとする行動選択を育成する。 ○体験的な語学研修を実施し、総合的な英語力を育成する。 ○学校行事の教育効果を一層高め、情操を豊かにするとともに、生徒の望ましい帰属意識をもたせ自尊感情の高揚を図る。</p>	<p>○開かれた学校づくりや近隣の小・中学校、地域との連携を推進し、生徒が社会に貢献できる資質・能力を育むとともに、ボランティア活動や防災活動等を通して社会性の涵養を図る。</p>	<p>○広報活動を通して、地域社会や在京・在島の学校に本校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、目的意識をもって本校を希望する生徒の募集増を目指す。</p>
<p>3 平成31年度の取り組み目標と方策</p>		<p>①教育目標と方策</p> <p>①特色ある教育活動に向けて、企画調整会議を中心とした組織的な学校経営を実施する。 ②生徒の安全と安心を最優先とした学校経営を行う。 ③計画的な仕事の進行管理により、業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図る。 ④平成33年度学科改編実施に向け教育課程委員会を定期開催し、教育課程の具体的な編成作業を開始する。 ⑤中長期的展望に立って事業を見直し、適正な予算編成・執行、財務管理を行う。 ⑥船舶管理部署により実習船の安全で安定的な運航を実現し、安全管理システムを適正に運用する。</p>	<p>①教科ごとに組織的な生徒の学力向上を図る。 ②個々の教員の優れた取り組みを、相互授業観察や研究授業で共有する。 ③学習到達度を明確にした授業展開の実施 ④教科主任を中心に生徒の学力を客観的に把握し、指導内容や指導方法の工夫改善の推進 ⑤学力向上推進校(寺子屋)事業による基礎学力の定着</p>	<p>①生徒の進路実現に向けた、組織的・計画的な進路指導の実施 ②全体計画に基づくキャリア教育の推進 ③1年次から組織的かつ意図的・計画的な進路指導を実施 ④2年次でのインターンシップ、オープンキャンパス等の参加 ⑤進路情報の的確な収集と提供 ⑥学年・教科が連携した各種検定・資格取得の取組</p>	<p>①生徒に寄り添い向かい合う指導を通して、生徒の公共心・道徳心を育み、自律的な生活態度の育成 ②他人を思いやるとともに、自尊心や自分の命を大切にできる生徒の育成 ③生活指導部と寄宿舎部が連携し、全体指導と個別指導を通して自律的な生活を促す。</p>	<p>①生徒が生涯健康で充実した生活を過ごすための基礎知識と体力向上のための習慣を身に着けさせる。 ②合理的な配慮を必要とする生徒への支援 ③カウンセリングや相談体制の強化</p>	<p>①体験的国際教育による国際社会の課題意識の育成 ◆希望する生徒の海外留学の推進 ◆2年国際系の BritishHills、1年生対象の TGGでの語学体験学習の実施 ◆「総合的な探究の時間」での国際社会の課題探究やリビック・パラボック教育の国際理解教育を実施する。 ②学校行事のねらいを達成し、文化・芸術・運動等に生涯にわたり親しむ下地を培う。③部活動の積極的な取り組みを奨励し、心身の健康を増進させるとともに、文化的教養を高める。</p>	<p>①学校の人的・物的財産を広く地域住民に公開し、地域社会での体育・文化活動の拠点としての役割 ◆地域に根差し貢献するボランティアや教育活動の推進 ◆災害復興等の支援活動をはじめ、様々な社会貢献活動を関係諸機関と連携して実施 ②近隣の保育園、小・中学校との交流を活活性化させ、地域から信頼させる学校づくりを推進 ③生徒の自発的活動として、伊豆大島ジオパークガイドの養成を推進</p>	<p>①開かれた学校づくりによる広報活動の充実。地域・学校外の教育力と連携した活動の推進 ◆HPによる情報発信と学校広報誌「マリタイム」による教育活動の情報発信 ◆学校説明会、見学会、公開授業等で、海洋国際科の取り組み状況や寄宿舎生活の紹介を発信する。 ◆保護者・中学生への広報活動の一環として、積極的に寄宿舎、大島丸を公開する。</p>
		<p>②重点目標と方策</p> <p>●企画調整会議の議題を速やかに分掌や教科会にて共有するように、スケジュール管理の徹底を図る。 ●学校の課題を踏まえ、経営企画室・各分掌により具体的な方針と目標を定め、組織的な校務運営を行う。 ●個人情報安全管理基準に基づき、個人情報管理の徹底を組織的に行う。 ●事業ごとに「費用対効果」を念頭に、事業見直しを含めた自律経営推進予算編成を行い、PDCAサイクルを活用した効果的な予算執行を行う。 ●特色ある教育活動を行う教育施設・設備(実習船・寄宿舎等)に係る諸経費の計画的な予算編成と適切な予算執行をする。</p>	<p>●四年制大学進学等に対応できる学力を育成するため、補修・補講等の実施 ●図書館やICTネットワーク・機器を有効活用した授業の工夫により、言語教育の推進 ●宅習・家庭学習の効果的な学習体制を構築するため、各教科間で内容・分量・頻度などを調整しながら課題、宿題等の積極的取組 ●教科における基礎学力の指導内容の確認と習熟度別授業、少人数編成授業の活用 ●四年制大学進学に対応できる年間授業計画の作成 ●学力向上研究校(都立学校寺子屋事業)の効果的な活用</p>	<p>●進路指導キャリア教育部、各学年と各教科の連携と3年間を見通した系統的、組織的進路指導の実施 ●学習ガイダンス週間の中で個別の進路ガイダンスを行い、定期的な進路意識調査の実施ときめ細やかな進路指導を実施 ●進路指導強化月間・進路講演会・模擬試験・資格取得試験等を活用した計画的な進路指導の実施 ●放課後や宅習時間を活用した講習・補講の実施 ●AO入試、推薦入試、面接、小論文等における専門分野に対する組織的指導の実施 ●東京海洋大、首都大学東京、東海大及び東京大学海洋学ライアンス等の海洋系大学との連携事業の推進</p>	<p>●挨拶、遅刻、服装、頭髪、装飾品、清掃等について組織的指導の実施 ●全教職員による授業規律の徹底 ●生徒の「参加と責任」による生徒会活動及び部活動の活性化と帰属意識の継承 ●いじめ防止対策委員会の確実な実施 ●「安全教育プログラム」や「東京防災」に基づく危機管理体制の確立と日常の危険予知能力の育成。 ●命の大切さを指導するため「安全指導の日(5月13日)」「海の安全祈念日(2月10日)」「東京都平和の日(3月10日)」を軸とした意識付けの実施 ●いじめ・体罰のない高い人権意識をもった指導の実施 ●部活動入部特別期間等を設定し、加入率向上とさらなる活性化を図る。</p>	<p>●生徒の心身の健康づくりのための相談・支援体制の強化 ●全教職員による保健衛生管理の徹底により、生涯にわたる健康維持・増進に必要な基礎知識や習慣の育成 ●乗船前検診等、生徒の安全を重視した管理体制を徹底する。 ●食物アレルギー対応のための校内研修、組織的な体制を整備する。 ●寄宿舎での集団感染を予防するため、衛生環境の整備を行う。 ●専門医派遣事業を活用し、生徒の心身の健康に関する課題及び性に関する健康課題の改善・解決を図る。</p>	<p>●東京都独自英語教材「Welcome to Tokyo」を活用して日本文化の発信力を高め「日本人としてのアイデンティティ」の確立に資する。 ●専門教科「総合英語」での想像力育成やGTECテストの指導を推進 ●大島町体育レクリエーション大会、カメラ・マラソン大会や保育園・福祉施設へのボランティア活動など地域行事への積極的な参加 ●国際教育の一環として留学生や海外からの訪問者の受入れと交流活動を行う。 ●航海実習において海の資源や生物・船に関する学習とシーマンシップを育成する。(1年次基礎航海実習、2年次航海実習・3年次魚類調査実習) ●2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、日本文化の発信力を育成する。 ●部活動特別強化校事業による指導体制・競技力の向上</p>	<p>●大島町教育委員会や近隣小・中学校等との連携の強化 ●地域清掃など生徒の自主的活動を。生徒会、部活動、「人間と社会」体験活動等で推進 ●ホームぺージ更新回数350回以上 ●本校の教育活動や「本校の求める生徒の姿」を説明し、中学生・保護者に入学前の目的意識を醸成する。 ●中学生、保護者を対象に、実習船「大島丸」を公開する。 ●新大島丸の竣工に伴い、生徒、保護者及び地域社会に広く公開する。</p>	<p>●学校説明会の回数・内容を厳選し本校の特色化のPR充実を図る。 ●職員の中学校訪問、在校生の母校訪問、学習塾対象の学校説明会を実施する。 ●ホームページ更新回数350回以上 ●本校の教育活動や「本校の求める生徒の姿」を説明し、中学生・保護者に入学前の目的意識を醸成する。 ●中学生、保護者を対象に、実習船「大島丸」を公開する。 ●新大島丸の竣工に伴い、生徒、保護者及び地域社会に広く公開する。</p>
		<p>③数値目標等</p> <p>▼教職員の在校時間前年比マイナス 15分以上 ▼体罰 0、服務事故 0、生徒の学校事故 0 ▼教員向け校内研修 年5回以上実施 ▼業務を効率化し、ワーク・バランスを図る教職員率 75%以上</p>	<p>▼ICT等を活用した授業実践に取り組む教員 80%以上 ▼補習・講習回数 教員1人当たり 年10回以上 ▼生徒の授業満足度 80%以上 ▼全教員による相互授業観察1人3回以上の参加</p>	<p>▼3年生進路決定率 100% ▼GTECテスト A-2 20%以上 ▼海洋系資格取得検定 合格率 100% ▼漢検準2級 10名以上、英検準2級15名以上の合格</p>	<p>▼1日当たりの平均遅刻率 0.1%未満 ▼保護者の学校満足度 80%以上 ▼部活動加入率 90%以上 ▼中途退学者数 0</p>	<p>▼保健日より発行 年6回以上 ▼保健に関わる校内研修会を1回以上 ▼体力テストによる学年平均値を都平均以上 ▼SCによる生徒全員面接の実施 ▼舎監長による寄宿舎生全員面接の実施</p>	<p>▼部活動加入率 90%以上 ▼部活動中の事故 0</p>	<p>▼施設開放 年80回以上</p>	<p>▼募集対策活動における各種説明会、体験授業等 20回以上 ▼ホームページ更新回数 350回以上</p>